

防除情報(病害虫情報 号外 第2号)

平成29年5月30日
神奈川県農業技術センター

ナシヒメシンクイの発生予想

次世代成虫の発生ピークを把握し、適期防除を心掛けましょう！

● フェロモントラップ調査におけるナシヒメシンクイ越冬世代成虫の発生ピークは、伊勢原市三ノ宮が4月3～4半旬（平年並）、大井町西大井が4月3半旬（平年よりやや遅い）、川崎市麻生区が4月3半旬^{*1}（平年よりやや遅い）でした。 ^{*1}川崎市農業技術支援センター調査

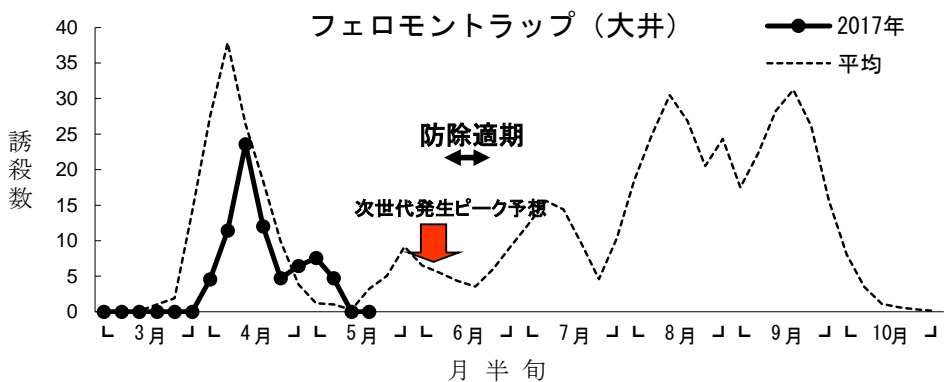
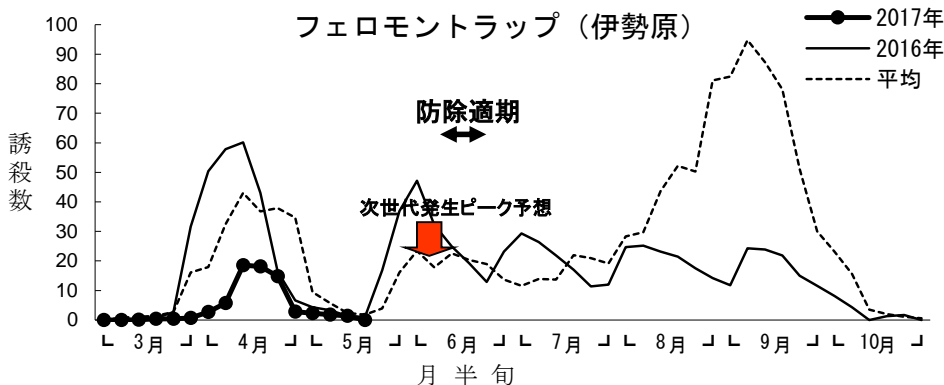
● また、越冬世代の誘殺数は伊勢原でやや少なく、大井では平年並となっています。

● 越冬世代の発生ピークを起点として、発育零点と有効積算温度^{*2}から次世代（第1世代）成虫の発生ピークを予想すると、伊勢原が6月2半旬（アメダスデータ海老名から算出）、大井は6月2半旬（同小田原）、川崎は6月1半旬（同府中）となり、伊勢原と川崎では平年よりやや早く、大井では平年並になると予測されます。

^{*2}：発育零点(11.1℃)、有効積算温度(383.7日度)、発育上限温度(28.0℃)、発育停止温度(30.0℃)

● 薬剤散布適期までの日数は、第1世代成虫では発生ピークの7～9日後という報告がありますので、**防除適期は伊勢原、大井町は6月3～4半旬、川崎では6月2～3半旬頃と予想されます。**

● 第2世代以降の成虫発生は今後の気象状況により変化しますので、その時期の予察情報を参考にしてください。



* 大井の平均は2011～2016年の小田原の平均値

病害虫防除部 TEL0463-58-0333
インターネット
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4500002/>
○農業使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。